

需要獲得

ものづくり

東洋機械株式会社

宮城県仙台市

鉄道用特殊車両の製造・メンテナンスの技術を活かし オール宮城でハイブリッド車両を開発する

鉄道用特殊車両の製造、販売、メンテナンスを行う企業。卓越した技術力を有し、70年超のJRの鉄道保守用特殊車両のメンテナンス実績がある。県内企業、大学などの教育機関と連携して、新型ハイブリッド車両の開発を推進中。また、人口減少による国内市場の縮小を見越し、タイを進出ターゲットに選定。JETROハンズオン支援先に認定されるなど、関係機関との連携を進め、2019年に現地法人を設立した。中長期的には東南アジア周辺各国での事業展開を計画している。

所在地	宮城県仙台市青葉区木町通1丁目5番30号	設立	1947年
電話/FAX	022-222-9831/022-222-9832	資本金	1,152万円
URL	http://www.toyo-kikai.co.jp/	従業員数	91人
代表者	代表取締役社長 佐々木 拓		



鉄道の一般客車の安全運行を支える、特殊車両は縁の下の力持ち

卓越した技術を背景に、70年にわたりJR特殊車両をメンテナンス。また、仙台市営地下鉄、三陸鉄道に同社オリジナルの特殊車両が採用されるなど、東北地区における納入実績が多数ある。現在、独自のセーフティハイブリッドエンジン搭載の新型車両を開発中で、メンテナンスフリー、長寿命、環境負荷の少ない特殊車両の提供を目指している。中長期的には、特殊車両のみならず、船舶、ブルドーザー、大型発電機などにシステムの転用が見込まれる。これによって持続可能な社会の実現に寄与していく。



高所作業特殊車両・多機能保全車

日本で培った技術を海外へ、海外鉄道インフラ事業への進出

同社は、人口減少による国内市場の縮小を見越し、タイを進出ターゲットに選定した。JETROハンズオン支援先に認定されるなど、関係各所との連携を進め、2019年に現地法人を設立した。今後は、タイ国鉄からの鉄道メンテナンス受注、車両部品販売を開始する予定である。中長期的には、東南アジア周辺各国での事業展開を計画している。これまで日本で培った技術を基に、海外での鉄道インフラ整備、経済発展に貢献していく。2020年を東洋機械スタートアップ元年とし、事業展開を加速させている。



タイ現地法人のグランドオープニング

地域資源の有効な活用、地元大学等との産学連携・地元企業との共同開発

地域資源を有効に活用するという点で、同社は現在、東北大学未来科学技術共同研究センター、東北学院大学、仙台高等専門学校などの地元教育機関と、連携して研究開発を実施している。セーフティハイブリッドエンジン搭載の新型車両の開発に際しては、地元企業との共同開発や、公益財団法人みやぎ産業振興機構、経済産業省東北経済産業局など、公的機関からの支援を有効に活用。「オール宮城で新型車両を開発する」をスローガンとして、地域資源を活用した事業展開を行っている。



開発中のハイブリッドモーターカー